



2023年3月24日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 「リアルタイムデータ連携基盤」の参画事業者が拡大します

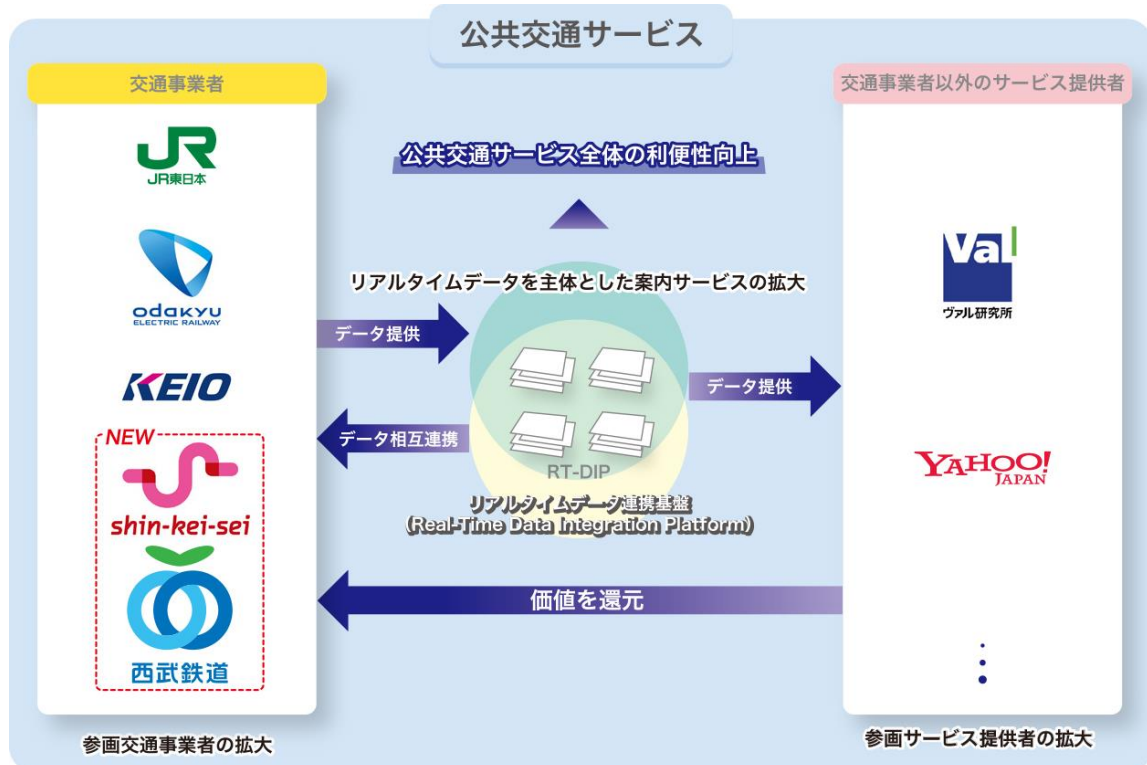
- 東日本旅客鉄道株式会社(東京都渋谷区 代表取締役社長:深澤 祐二/以下「JR 東日本」)は、列車の遅れや在線位置などのリアルタイムデータを集約・管理する、「リアルタイムデータ連携基盤」を構築し、交通案内サービスでの提供を実施しています。
- このたび、新京成電鉄株式会社(千葉県鎌ヶ谷市 代表取締役社長:眞下 幸人/以下「新京成電鉄」)と西武鉄道株式会社(埼玉県所沢市 代表取締役社長:喜多村 樹美男/以下「西武鉄道」)が新たに参画することとなりました。
- 今後も交通事業者及び交通案内サービス提供事業者の更なる参画に取り組み、リアルタイムデータを主体とした交通案内サービスの向上を目指します。

### 1. 新たに2社の交通事業者が参画

2023年2月に導入したリアルタイムデータ連携基盤により、各交通事業者の遅れ時間や在線位置などのリアルタイムデータを集約・管理できるようになりました<sup>※1</sup>。このたび、新京成電鉄、西武鉄道の2社が新たに参画することとなり<sup>※2</sup>、「列車遅れを考慮したリアルタイム経路検索」など、交通案内サービスの更なる品質向上を図ってまいります。

※1:2023年2月21日プレスリリース([https://www.jreast.co.jp/press/2022/20230221\\_ho03.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2022/20230221_ho03.pdf))

※2:新京成電鉄は2023年3月24日から、西武鉄道に関しては準備でき次第サービス提供開始予定となります。



<リアルタイムデータ連携基盤> 略称:RT-DIP (Real-Time Data Integration Platform)

複数の交通事業者間でリアルタイムデータの集約及びデータ活用が可能となります。また、参画された交通事業者は、経路検索などの交通案内サービス提供事業者へ自社のリアルタイムデータを提供できるようになります。

## 2. 新事業者の参画に伴うサービス概要

リアルタイムデータ連携基盤に参画している交通事業者は、JR 東日本アプリの「リアルタイム経路検索」、及び、参画交通事業者が提供するサービスの双方で、リアルタイムデータが利用可能となります。

### <例：JR 東日本アプリ リアルタイム経路検索>



### <例：新京成線アプリ リアルタイム経路検索>



## 3. 今後の展開について

リアルタイムデータ連携基盤の更なる機能拡大に取り組むとともに、交通事業者及び交通案内サービス提供事業者の更なる参画に取り組み、リアルタイムデータを主体とした交通案内サービスの更なる向上を目指します。